

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月10日 (2008.4.10)

【公表番号】特表2007-524650(P2007-524650A)

【公表日】平成19年8月30日 (2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2006-526473(P2006-526473)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 38/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/337 (2006.01)

A 6 1 K 31/513 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 11/02 (2006.01)

C 1 2 N 9/99 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06 Z N A

A 6 1 K 37/64

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/513

A 6 1 K 33/24

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 43/00 1 2 3

C 0 7 K 11/02

C 1 2 N 9/99

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月21日 (2008.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

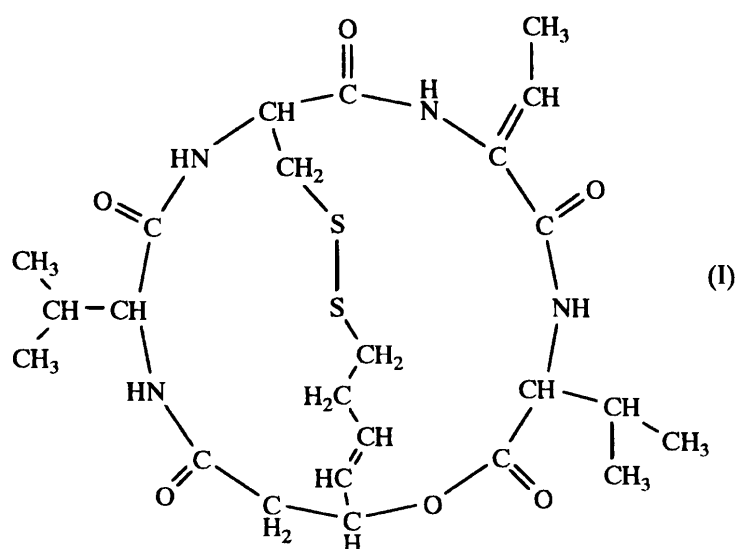
【請求項 1】

D N A に架橋を形成し抗腫瘍効果を示す抗腫瘍剤、代謝拮抗物質系抗腫瘍剤およびタキサン系抗腫瘍剤からなる群から選ばれる少なくとも一種の抗腫瘍剤と、ヒストンデアセチラーゼ阻害剤とを組み合わせる抗腫瘍剤。

【請求項 2】

ヒストンデアセチラーゼ阻害剤が式 (I)

【化 1】



で表される化合物、その還元体、類縁体、プロドラッグまたはその医薬として許容される塩である請求項 1 に請求される抗腫瘍剤。

【請求項 3】

DNA に架橋を形成し抗腫瘍効果を示す抗腫瘍剤が白金化合物系抗腫瘍剤またはアルキル化剤系抗腫瘍剤である請求項 2 に請求される抗腫瘍剤。

【請求項 4】

白金化合物系抗腫瘍剤がシスプラチンである請求項 3 に請求される抗腫瘍剤。

【請求項 5】

代謝拮抗物質系抗腫瘍剤が 5 - フルオロウラシルである請求項 2 に請求される抗腫瘍剤

。

【請求項 6】

タキサン系抗腫瘍剤が、パクリタキセルまたはドセタキセルの少なくとも一種である請求項 2 に請求される抗腫瘍剤。

【請求項 7】

肺癌、悪性リンパ腫、消化器癌、乳癌、卵巣癌、筋骨格肉腫、膀胱癌、白血病、腎臓癌または前立腺癌に対する抗腫瘍剤である、請求項 1 ~ 6 のいずれかに請求される抗腫瘍剤

。

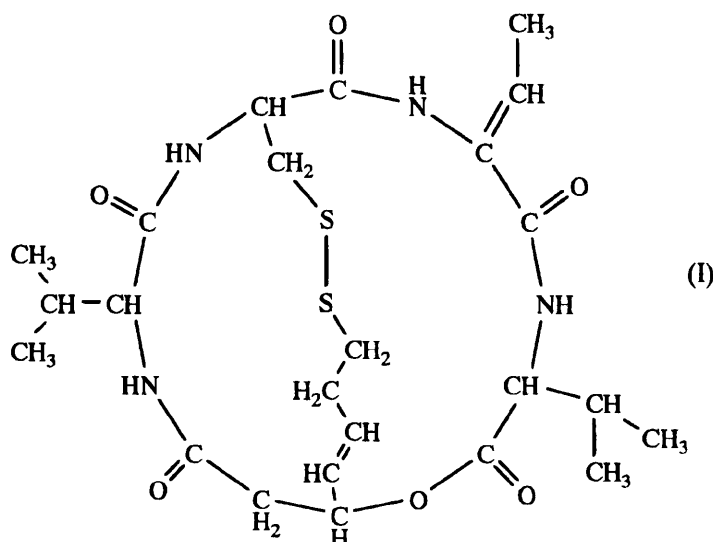
【請求項 8】

ヒストンデアセチラーゼ阻害剤を有効成分として含有する、DNA に架橋を形成し抗腫瘍効果を示す抗腫瘍剤、代謝拮抗物質系抗腫瘍剤およびタキサン系抗腫瘍剤からなる群から選ばれる少なくとも一種の抗腫瘍剤の抗腫瘍効果増強剤。

【請求項 9】

ヒストンデアセチラーゼ阻害剤が式 (I)

【化 2】



で表される化合物、その還元体、類縁体、プロドラッグまたはその医薬として許容される塩である請求項 8 に請求される増強剤。

【請求項 10】

DNA に架橋を形成し抗腫瘍効果を示す抗腫瘍剤が白金化合物系抗腫瘍剤またはアルキル化剤系抗腫瘍剤である請求項 9 に請求される増強剤。

【請求項 11】

白金化合物系抗腫瘍剤がシスプラチンである請求項 10 に請求される増強剤。

【請求項 12】

代謝拮抗物質系抗腫瘍剤が 5 - フルオロウラシルである請求項 9 に請求される増強剤。

【請求項 13】

タキサン系抗腫瘍剤が、パクリタキセルまたはドセタキセルの少なくとも一種である請求項 9 に請求される増強剤。

【請求項 14】

肺癌、悪性リンパ腫、消化器癌、乳癌、卵巣癌、筋骨格肉腫、膀胱癌、白血病、腎臓癌または前立腺癌に対する抗腫瘍効果増強剤である、請求項 8 ~ 13 のいずれかに請求される増強剤。

【請求項 15】

DNA に架橋を形成し抗腫瘍効果を示す抗腫瘍剤、代謝拮抗物質系抗腫瘍剤およびタキサン系抗腫瘍剤からなる群から選ばれる少なくとも一種の抗腫瘍剤を含む併用剤、および該併用剤を抗腫瘍剤として使用することができるまたは使用すべきであることを記載した該併用剤に関する記載物を含む、商業パッケージ。

【請求項 16】

ヒストンデアセチラーゼ阻害剤を含有する製剤、および該製剤を DNA に架橋を形成し抗腫瘍効果を示す抗腫瘍剤、代謝拮抗物質系抗腫瘍剤およびタキサン系抗腫瘍剤からなる群から選ばれる少なくとも一種の抗腫瘍剤の抗腫瘍効果を増強するために使用することができるまたは使用すべきであることを記載した該製剤に関する記載物を含む、商業パッケージ。